



日本・インド環境ウィーク (西村明宏環境大臣が訪問)

本社:〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町908 TEL(0748)32-5111(代) FAX(0748)32-3339 / 東京支店:〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7 TEL(03)5772-6073(代)

海外事業

環境省とインド国環境・森林・気候変動省主催「日本・インド環境ウィーク」にて日吉が技術展示とセミナー講演を実施 2023.1.12～1.13

この度、インド・デリーで開催された環境省等主催の「日本・インド環境ウィーク」にて、日吉が、アジアの水環境改善モデル事業の普及展開をテーマに登壇、CO₂削減に貢献できるバイオアッセイ技術を用いたダイオキシン類簡易測定法の技術展示を行いました。インドの環境保全および持続可能な社会の構築に貢献する技術として、セミナーでは環境省「アジア水環境改善モデル事業」での実施事例と共に、IoT資源を活用した排水処理の維持管理ビジネスへの展開を現地法人日吉インディアのChibibharath社員が行いました。

日吉の技術展示に西村明宏環境大臣が訪問され「長年に亘る国際環境人材の育成への尽力」と「環境問題に寄与できる素晴らしい生物検定技術」また、「三方良しの近江の企業」と好評をいただきました。今後も「環境問題に国境なし」、日吉国際化の基本理念のもと脱炭素社会に向けてインド国含め社会に必要とされるよう事業拡大に努めます。



2年連続 インドでの寄附講座を開校 2022.10.13～10.28

日本・インドの両政府が進める、製造業分野の人材育成を目的とした「ものづくり技能移転推進プログラム」に基づきインド国内の大学へ寄附講座として経済産業省より認定を受けた「日吉寄附講座」を、昨年に続きインドのDr. M.G.R大学にて開校しました。10月28日の修了式には、在チェンナイ日本国総領事館領事小田川肇様より15名の受講生に修了証書が授与されました。

対象学部は昨年の化学・土木工学部に加え、バイオ技術・建築工学・機械工学まで拡大し、受講生数も1.5倍に増加しました。座学は日本からオンラインで、実践的な現場教育は現地法人日吉インディアによりDr.M.G.R大学の実験室と生活排水処理施設現場で行いました。インドにおける環境への意識の高まりを目指し、彼らが環境対策に取り組むリーダーとなることを期待しています。



国内事業

内閣官房採択 下水サーベイランスの活用に関する実証事業 2022.8～2023.1

内閣官房「ウィズコロナ時代の実現に向けた主要技術の実証・導入に係る実証事業」[下水処理場実証(地方公共団体)と個別施設実証(高齢者施設)]に採択されました。下水サーベイランスとは、下水中のコロナウイルスを検出することです。新型コロナウイルスの主な伝播経路は飛沫・接触感染ですが、感染者の糞便および生活排水からもウイルスが検出されることが報告されています。

日内的変動を平準化する環境中に一定期間放置し、対象物質を捕捉するパッシブサンプラー等を利用し、下水サーベイランスの活用をめざし、下水の新型コロナウイルス量の定期モニタリングと新規感染者数の推移を比較する検証を行い、下水処理場では、滋賀県・津市らと共同で速

やかな感染流行の警報発信、個別施設では、感染拡大予防・絞り込みの活動に向けた情報ツールとして活用検証中です。今後、新型コロナウイルスが終息しても、将来のパンデミックに備えた下水サーベイランス研究として重要性が高く、ウイルス(コロナ、インフルエンザ、ノロ等)への対応を想定していきたいと考えています。



表彰

日本獣医師会獣医学術賞を受賞

(公社)日本獣医師会より林取締役の「滋賀県におけるボツリヌス食中毒予防に関する研究」が優秀な研究と評価され日本獣医師会獣医学術賞を受賞しました。



環境大臣より浄化槽業界発展の寄与における表彰

環境大臣より鈴木専務取締役が多年にわたり浄化槽関係事業に携わり浄化槽業界の発展に尽力したとして表彰されました。



交通安全優良事業所として表彰

近畿管区警察局と近畿交通安全協会協議会より、安全運転管理対策を積極的に推進し、交通事故防止に貢献したとして表彰されました。



「第1回実務・社会貢献賞」受賞

第22回環境技術学会年次大会が開催され、次世代への環境活動の実践について総務部の上森社員が論文を発表しました。今大会より設けられた「実務・社会貢献賞」に第1回目として表彰されました。



令和4年度技能競技大会

滋賀県知事より分析検査部 松本社員が滋賀県技能競技大会の二級化学分析 化学分析作業において特に優秀な成績を修めたとして知事表彰を受賞しました。



令和4年度計量関係功労者表彰

(一社)滋賀県計量協会より分析検査部 奥長課長と半田主任が多年にわたり計量関係業務に従事し、産業の振興に尽くした功績を称えられ表彰されました。



地域貢献

地域の小学校にて環境ごみ学習 2022.05~

例年、小学4年生を対象とした環境ごみ学習を実施するため、地域10校を訪問しています。一昨年から2年間は新型コロナの感染拡大を懸念し、出前学習を実施できず、代わりに社員皆でアイデアを持ち寄り、ごみ学習の様子を自社で撮影しDVDにして配布を行いました。今年は感染対策の上、クラス毎にコロナ禍以前のように屋外で授業を行いました。

主担当の環境部 平井係長が、ごみ収集車(パッカー車)で出向き車の仕組みやごみの積載方法など説明と実演を行うと、子どもたちは興味深々な様子です。また、ごみの正しい分別方法や、分別不足によるパッカー車の火災の話など写真を見せながら説明をすると、現実味を帯びて子どもたちに深く伝わりました。子どもたちには、当たり前のことを当たり前に行えるように、さらに環境分野への興味関心の動機づけとなることを期待しています。



環境研修会で地元小学生に「ごみ問題」を伝える 2022.08.06

対面としては3年ぶりに環境研修会を開催しました。「子どもたちに身近にある環境問題を理解してもらい、今できることを考えてもらう」ことを目的として、近江八幡市子ども会育成者連合会が主催となり企画・運営として日吉の新入社員11名が携わりました。

今年のごみ問題をテーマにごみ処理のフローや3R(リデュース・リユース・リサイクル)の大切さを知ってもらうため、遊び感覚を取り入れたミライじゃんけんや分別マスターなど独自の企画のもと、子ども

ちに日常生活の中でごみを減らすために自主的に何ができるかを考えてもらえるよう工夫を凝らしました。

新入社員らは、子どもたちの笑顔や「楽しかった!」という言葉に安堵と達成感が満たされ、研修会を通して、自分達に足りないものや互いの長所を知ることができ、これからの成長に繋がる学びを得ることができました。



インターンシップの実績

新型コロナの感染拡大を懸念し中止していた学生向けのインターンシップの受け入れを2年ぶりに再開しました。日吉での就業体験を通して、業界の理解や社会人になる意識への動機づけのため実施しています。より業務を理解できるように維持管理の現場見学も行いました。

- ・金沢医科大学(ベトナム研修生)・龍谷大学・滋賀県立大学・八幡工業高校・瀬田工業高校・八幡中学校



滋賀県立
大学学生の
感想

このインターンシップで得たものは数多くありますが、特に仕事との向き合い方について非常に参考になりました。余裕を持って丁寧に行うことで、確実な成果を得るのが目的なのだと思います。多くの貴重な経験をさせて頂いたこと、本当に感謝しております。



- 用紙: 琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付びわ湖環境ペーパー 責任ある木質資源や再生資源を使用したFSC®認証用紙
- インキ: 環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷: 有害な廃液を排出しない水なし印刷
- 製造、廃棄に発生するCO₂を滋賀県内の排出削減事業者のクレジットによりカーボンオフセット済
- CO₂排出量: 245kg/3,000枚